

JAL、日本初となる「ドローンサービス品質認証(JIS Y1011)」を取得 ～ドローンサービス品質の標準化・信頼性向上に貢献します～

- ・2025年6月5日(木)、JALグループは日本で初めてとなる「ドローンサービス品質認証(JIS Y1011)」を取得しました。
- ・今回の認証では、ドローン運航支援サービスについて「輸送・配送」「緊急搬送」「災害調査」の3つのカテゴリの、提供サービスとコンサルティングにおいて高い品質が評価されました。



JIS Y1011 認証番号:DSQ-0500125



ドローンサービス品質認証 付与式

(左:一般社団法人ドローンサービス推進協議会(DSPA) 代表理事 鈴木 真二
右:日本航空株式会社 エアモビリティ創造部ドローン事業グループ長 谷口 伸)

JALグループは2025年6月5日(木)、日本で初めてとなる、一般社団法人ドローンサービス推進協議会(以下「DSPA」)の発行する「ドローンサービス品質認証(JIS Y1011)(以下「本認証」)」を取得しました。今回はドローン運航支援サービスについて、「輸送・配送」「緊急搬送」「災害調査」の3つのカテゴリの、提供サービスとコンサルティングにおいて高い品質が評価されました。

本認証は、2024年8月に経済産業省がドローンサービスの提供に当たって必要となるプロセスや基準を定めたJIS を制定(*1)したことに基づき、DSPAがその品質について認証を発行するものです。審査・評価は一般財団法人日本品質保証機構(JQA)が実施し、透明性の高い品質認証を発行することで、事業者が提供するドローンサービス全体の標準化・信頼性向上につなげ、更なる市場拡大・発展を目指しています。(*2)

JALグループは、社会課題の解決と持続可能な人流・物流・商流の実現を目指し、次世代エアモビリティ事業を展開してきました。その一環として、ドローンサービスの社会実装にむけて重点的に取り組んでいます。ドローンサービスの社会実装を実現するためには、安全やリスク評価を含めた運航管理の体制を整備することが重要です。本認証のように、その品質を担保するための一定の基準は、今後ドローンサービスを広く、安心してご利用いただくために必要不可欠であり、JALグループはドローン運航支援サービスについての本認証取得に積極的に取り組んできました。

これからもJALグループは、「ドローンサービス品質認証(JIS Y1011)」取得事業者として安全・安心なドローンサービスを提供し続けるとともに、品質認証制度が広く社会に普及し、労働力不足や災害時の対応などさまざまな分野において、安心してドローンが利活用される社会の実現に貢献してまいります。

(*1)経済産業省プレスリリース <https://www.meti.go.jp/press/2024/08/20240820001/20240820001-2.pdf>

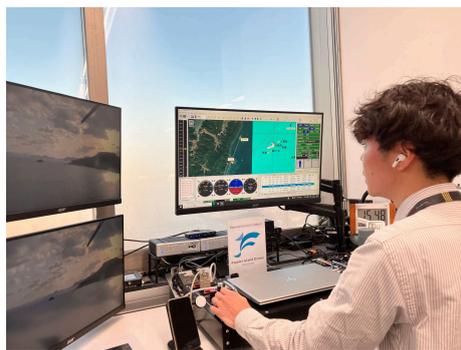
(*2)DSPAの認証サービス 詳細URL:<https://dspa.or.jp/menu/category/authentication/>

■今回「ドローンサービス品質認証」を取得したサービスカテゴリ(認証番号:DSQ-0500125)

サービスカテゴリ		凡 例	JALグループの取り組み例
提供サービス			
搬送・物流	輸送・配送	大型商業施設や、高層マンション、また山間地域などへの荷物の配送など	奄美アイランドドローン(*3)の定期運航
	緊急搬送	災害時の被災地への日用品や援助物資の輸送、また医薬品、血液、AEDなどの医療資機材の輸送など	奄美アイランドドローン(*3)による医薬品配送
公共	災害調査	大規模災害が発生した際の斜面の崩落状況や河川の浸水状況の確認、また破損した港湾の調査など	熊本県防災訓練での被災状況の偵察飛行
コンサルティング			
上記3カテゴリにおいて		輸送・配送、緊急搬送、災害調査におけるドローンサービス事業者に対する支援。業務設計や飛行支援など	奄美アイランドドローン(*3)の事業会社設立、飛行支援

(*3)奄美アイランドドローン株式会社

JALと鹿児島県瀬戸内町が2023年に共同で設立したドローン運航会社。安定的な物流や自然災害時の対応など、奄美大島の離島が抱える課題に、JALが航空事業で培ってきた安全運航ノウハウを生かして自治体とともに解決に取り組みます。



(左上写真) 物資輸送中のドローン
(左下写真) 奄美での物資輸送

(中央上下写真)
熊本県での防災訓練

(右写真)
奄美アイランドドローンの設立

以上